

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成21年度採択テーマ 中間評価結果

テーマ名および概要		提案者名	中間評価コメント
テーマ	ADCP観測および流況解析に基づいた浮子流観データの検証と河川計画への反映に関する研究	高知工業 高等専門学校 岡田 将治	研究成果を他の研究成果と比較するなどして、データの精度を評価し考察すること。
概要	ADCP観測データの精度評価手法の確立とともに、ADCP洪水観測データ、模型実験および流況解析結果に基づいて、河道の横断面形、橋脚等の河川構造物等が流観区間の流況に及ぼす影響を定量的に把握し、浮子流観データの検証手法を提案する。		
テーマ	水防意識向上に関する調査研究 －水害経験の継承による、水防意識向上に資する具体的な方策の検討－	関東学院大学 喜田 愛子	いかにその地域の防災力を向上させるのか等について、地域の現状を考慮した上で、方向性を示すなど、研究を系統的に進めること。
概要	水害と関連する場所の知恵や工夫などを資料化し、「住民の水防意識向上」といった新たな方策を提言する。		
テーマ	石狩川流域における治水事業の評価と氾濫形態の変化に関する研究	北海道大学 木村 一郎	研究のロードマップを明確にすること。
概要	石狩川治水百年を振り返り、急激な流域都市化の下、各種河川事業が氾濫形態に及ぼしてきた変化を多角的視点で検討解明する。		
テーマ	河道掘削による洪水攪乱の誘発と新たな河川維持管理技術の確立に関する研究	群馬大学 清水 義彦	長期的な現象を考慮したうえで目的を明確化し、維持管理システムとの関係を明示できるようにすること。
概要	砂礫州や低水路の一部を掘削して出水を導き、その結果生じる洪水攪乱に着目して、樹林化対策など新たな維持管理技術を確立する。		
テーマ	統合システムによる河川堤防の重点強化地点の同定と対策法に関する研究	中部大学 杉井 俊夫	新しい技術として展開することを目指して、研究を進めること。
概要	物理探査、数値解析、被災履歴の統合システムによる重点強化地点の抽出シナリオと適切な対策・評価技術の提案を行う。		
テーマ	美和ダム排砂バイパスシステムの運用高度化に向けた流砂モニタリング手法の開発	京都大学防災研究所 角 哲也	研究成果が土砂流出予測システムに適切に反映できるような検討を進めること。
概要	排砂バイパス操作を高度化するための土砂流出予測モデルおよびITVカメラ画像による流速計測と浮遊土砂濃度計測を組み合わせたバイパス効果のモニタリング手法の開発を行う。		

テーマ	誘電率計測手法を用いた非破壊調査・試験方法による河川堤防の維持管理技術の開発に関する研究	岡山大学大学院 竹下 祐二	非破壊計測方法の検討と計測データの検証を重点的に研究を進めること。
概要	河川堤防浅層領域の飽和・不飽和地盤特性値を地中レーダや簡便な原位置透水試験装置を用いて、フィールドスケールで迅速に計測評価する調査・試験方法の開発を行う。		
テーマ	超濁度水発生機構の解明と防止に向けた現地試験および現場での採泥分析を用いた土砂輸送に関する研究	北見工業大学 中山 恵介	土砂輸送状態や人為的要因を考慮して、小流域分割の方針と内部機構について検討を進めること。
概要	畑作地帯を流下する河川における超濁度水の発生機構の解明と、防止に向けた現地試験、および現場での採泥分析による細粒土砂の輸送過程の解明を行う。		
テーマ	河川空間における良好な河川景観の形成と保全のための景観形成方針の設計および景観設計等を行うための景観形成手法の確立のための調査研究	九州大学大学院 樋口 明彦	全国で適用可能な指針の作成を見据え、研究対象を明確化して、検討を進めること。
概要	筑後川久留米地区をモデルとして、民・官・学の連携体制のもとで地域の歴史文化等を考慮し周辺のまちづくりと一体となった河川空間の景観設計手法を開発することをその主目的とする。		
テーマ	渡良瀬川堤防を対象とした堤体内水の常時監視システムによる持続可能な浸透性破壊に対する健全性診断手法の構築	群馬大学 松本 健作	研究を進めるにあたって、外部の研究者と幅広いディスカッションを行うこと。
概要	堤体内水分の観測から、出水等によって堤防の浸透性破壊に対する安全性がどのような変化を示すのかについて検討を行う。		
テーマ	矢田川低水路における砂州の挙動・環境機能の解明と自然河岸形成に向けた技術・環境面からの検討	名城大学 溝口 敦子	水温の平面分布の計測等により、伏流、湧水の2次元分布を把握する方法を検討すること。
概要	矢田川低水路内の砂州挙動・環境機能の解明と、環境改善を目指し、自然河岸形成に向け技術・環境面から検討を行う。		

(五十音順、敬称略)